

March 11, 2026
REVision 2026

再生可能エネルギーの現状と今後 ～分散型システムに向けて～

高橋 洋

Hiroshi TAKAHASHI, Ph.D.

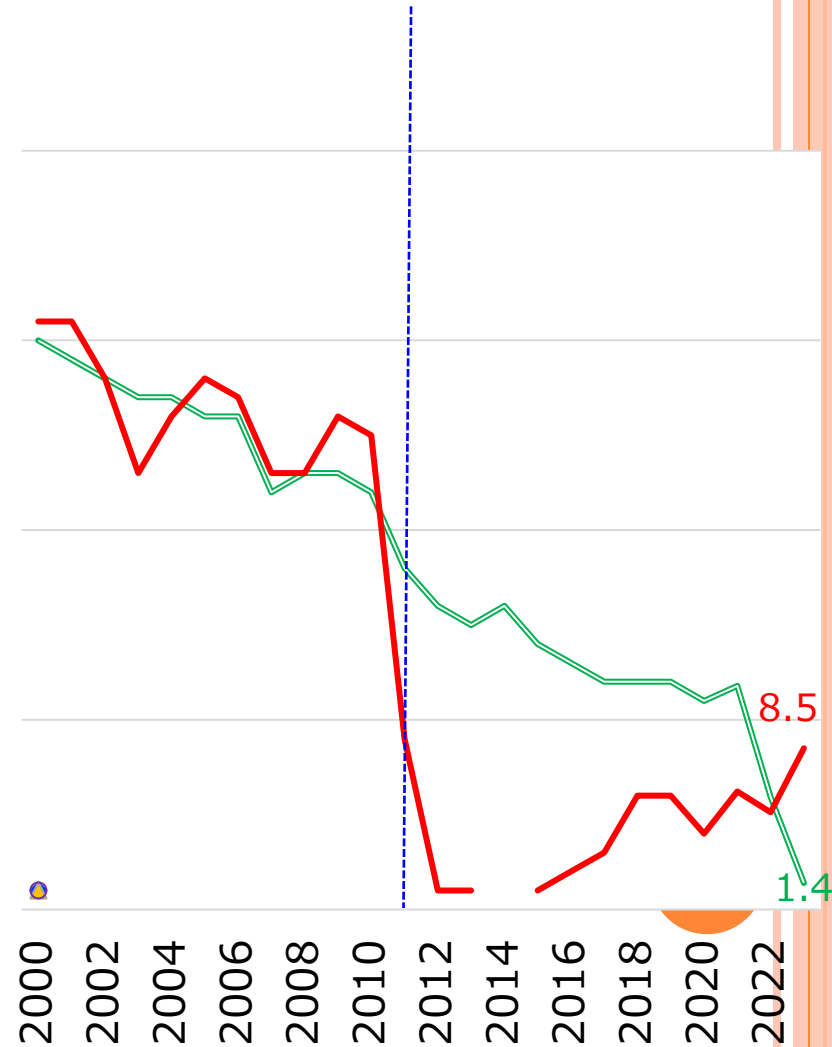
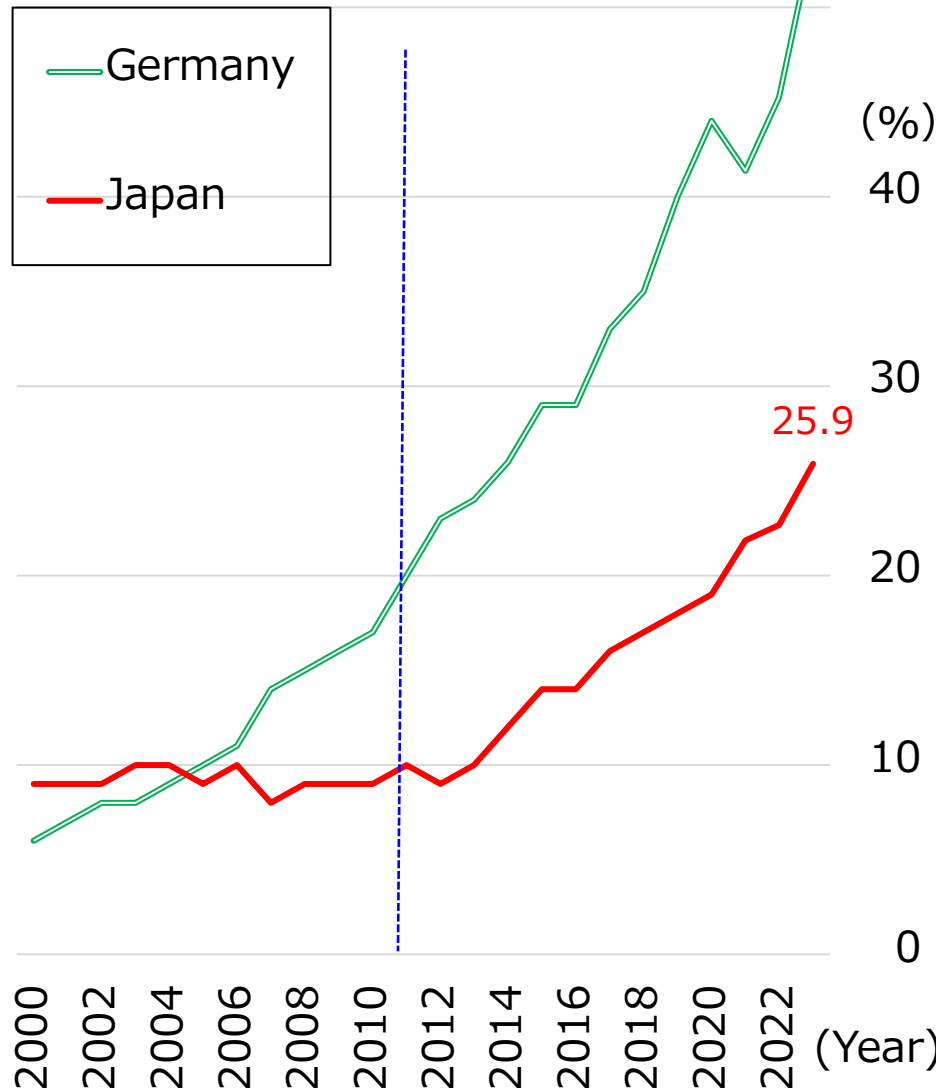
法政大学・Hosei University

Takahashi-h@hosei.ac.jp

電源構成; Japan vs. Germany

Renewable Energy

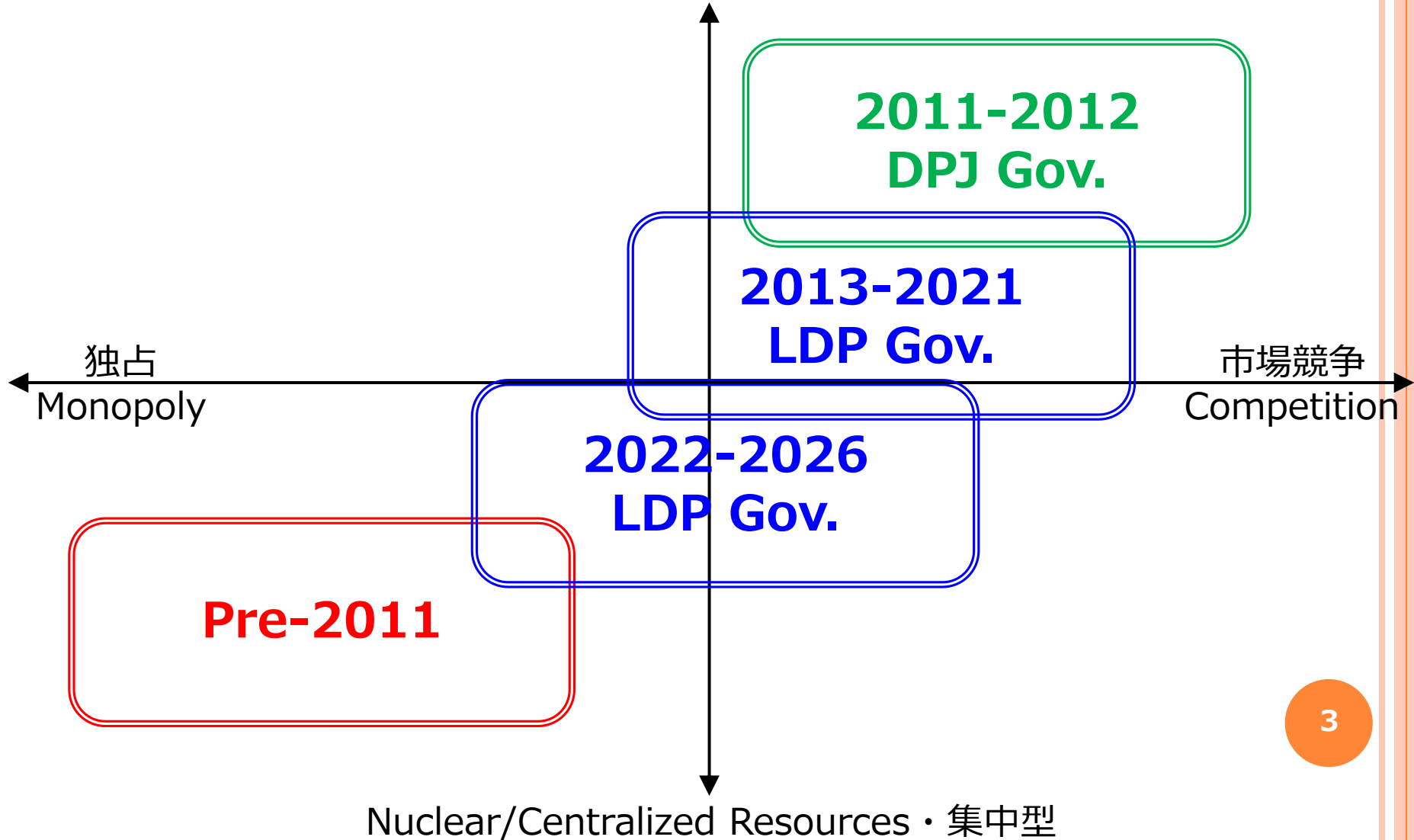
Nuclear Power



政策動向の推移

Policy Direction of Japan

RE/Distributed Resources ・ 分散型



なぜ再エネの優先順位が下がったのか？

①立地地域におけるNIMBY問題：Local Opposition against RE

- ・不適切案件：景観破壊や関連災害への懸念
- ・立地地域にとっての便益の少なさ

②政府・経済産業省の立場：Government/METI

- ・原子力や火力もバランス良く残したい
- ・安定供給のため？産業政策的配慮？

③保守派の方々からの反対：Conservative people's Opposition

- ・経済安全保障：中国製のパネルはけしからん
- ・固定価格買取制度の賦課金負担

今後の展望

①再エネは脱炭素にも経済安全保障にも大きく貢献する電源

- ・エネルギー安全保障 >> 関連機器の安全保障
 - ・「不安定」ではない：VRE + BESS
- ⇒国民・市民への適切な情報提供

②立地問題に適切に対処すべき

- ・不適切案件への規制強化、廃棄パネルのリサイクル

③適切・優良な案件を強力に推進すべき

- ・地域共生的案件への支援強化
- ・屋根設置・壁設置：新築屋根設置義務化
- ・営農型太陽光、プラグインソーラー

⇒分散型のエネルギーシステムへ

- ・地域社会の関与、需要家の関与、DR/VPP

**ご清聴ありがとうございました。
Thank you for your attention.**